

平成24年度 教師海外研修 研修報告書

派遣国：タンザニア

学校名：川崎市立宮崎小学校

担当：小学校4学年

氏名：中村 洋子

1. 今回の研修における目的やねらい

タンザニアの実態を知り、授業実践を通して児童に開発教育を行う。

2. 目的やねらいがどのくらい達成されたか

タンザニアの実態と問題についてよく理解できた。どの部分を重点化して授業計画を立てるか思案中である。

3. タンザニアから学んだこと

初代大統領ニエレレを敬い「私たちは愛し合い、助け合っています。」というイフンダ中等学校の教職員からの言葉が印象的であり、学ぶべきところだと感じた。

4. 今回の研修経験をどのように教育活動に活用しようと思っているか

開発途上国の実態を知らせる上で、「貧しい」などネガティブの印象を与えるのではなく、いろいろな違いを多面的な角度から見られるよう配慮していきたい。

5. 今回の研修に参加してよかったことや、よりよくするための提案

たいへん充実した研修だった。一日ごとに振り返りの時間があり、意見交流をしながら他者の考えを聞いてさらに自分の考えを深めることができた。時間はもう少し短くてもよかった。

6. その他、研修全般を通じての感想・意見など

教育の分野だけでなく、村を訪れるなどして道路や水、電気などについて体験的に理解できる研修となっていたところがよかった。JICA タンザニア事務所や協力隊の方たちにたいへんお世話になり感謝している。

7. 今後の本研修参加者へのアドバイスなど

歌などの出し物を2～3用意しておく交流与の時に役立つ。今年度は、「ふるさと」の2部合唱で日本古謡を披露し、タンザニア民謡「マライカ」で共に歌えた。

8. 各訪問先等の所感

日時	テーマ	所感
7月29日(日)	日本からタンザニアまでの移動中および現地到着	飛行時間や待ち時間が長かったが、タンザニアに向かっていることで心が躍った。
7月30日(月)	JICA タンザニア事務所表敬	勝田所長から、国の概要やJICAの支援の仕方について話を伺った。
7月30日(月)	本日の振り返り	JICA 所員との食事会后、ホテル到着が遅くなったので翌日にまとめて行うことになった。
7月31日(火)	JICA タンザニア事務所研修ブリーフィング	次長からタンザニア概要についてさらに詳しい話を伺った。教育、道路、水など各セクターの詳しい説明が興味深かった。
7月31日(火)	市内視察(教材購入)	絵葉書、切手、教科書を購入した。タンザニアでは会計にたいへん時間がかると聞いていたが本当

提出期限：平成24年8月16日（木）

		だった。
7月31日(火)	本日の振り返り	到着して一番印象的だったことや疑問点について意見交流した。頭に物を乗せて運ぶこと、日本車が多いこと、教員の数が足りないことなどを挙げた。
8月1日(水)	ミクミ国立公園、タンザム幹線道路改修計画	バスでの長い移動であったが、ゾウやキリン、バッファローなどの野生動物が身近に見られたことに感動した。
8月1日(水)	イリング隊員との懇談	7名の隊員と会食をした。協力隊に応募した動機やタンザニアでの生活ぶり、苦労などを聞くことができ、楽しいひと時だった。
8月1日(水)	本日の振り返り	一日を振り返って考えたことなどを話した。教員養成学校での自己紹介や質問したいことを英語で考えておくことなどの連絡事項があった。
8月2日(木)	クレルー教員養成学校 横山隊員	全体で自己紹介や質疑応答をした後、グループごとに分かれて密接な懇談をした。10人程の生徒が積極的に質問をし、一人で対応したので言葉に苦労した。
8月2日(木)	イフンダ中等学校 幾山隊員	職員との交流会が充実していた。日本が経済発展した理由を問う質問が多かった。幸せを感じる時の回答が、個性や国民性が出ていて興味深かった。
8月2日(木)	本日の振り返り	イフンダガールズで生徒に文房具を見せてもらった話をした。新品に近いコンパスを大切にを見せてくれたこと、ノートには几帳面な文字でアルファベットが書かれていたことなどを伝えた。
8月3日(金)	ンゴメ小学校 谷村隊員	子どもたちの歌や踊りに感激した。カリブ精神の強さを感じた。教室での交流では、子どもはやはり元気で国は関係ないのだということを感じた。長縄に並ばずびよんびよん飛び込んでくる姿がかわいかった。
8月3日(金)	コミュニティ訪問	診療所を見学した。援助を求めてくる人が多い中、ここでは自分たちの手でコミュニティーを作ろうとしていることが感じられ、頼もしく感じた。村に唯一ある共同水栓、住民の家の中も見学できた。
8月3日(金)	Mkwawa 博物館	へへ族の歴史を振り返る博物館だった。たいへん丁寧な説明で長時間にわたった。自分たちの部族に誇りを持っていることがよく伝わった。
8月3日(金)	専門家との懇談	翌日に変更。
8月3日(金)	本日の振り返り	いろいろな意見があり参考になった。タンザニア人は貧しいと思われる写真はのせて欲しくないこと、良いところだけを伝えるのは国際理解の授業

提出期限：平成24年8月16日（木）

		に留まってしまうので、問題を見出すことなどが あり、考えさせられた。
8月4日(土)	地方道路開発技術向上プロジェクト視察	LBTによって地元の雇用を増やし地元経済を潤すやり方に感心した。道路は生産地と市場をつなげる大切な物だということが実感できた。
8月4日(土)	イリング市内視察	隊員の案内でイリングの町の散策を行った。市場や土産物店などで店員とちょっとしたコミュニケーションをとることができた。
8月4日(土)	専門家との懇談	タンザニア以外の国でも活躍なされている専門家から貴重な話を聞くことができた。こちらの思い通りに動いてはもらえない苦労話などを聞いた。
8月5日(日)	イリングからダルエスサラームへの移動	モロゴロで昼食をとった。モロゴロは首都ドドマへの幹線道路へと枝分かれしている。レストランの会計でトラブルがあった。
8月5日(日)	本日の振り返り	木下さんから中学生向け5時間の授業計画提案があった。小学生でも使えそうな手法もあったのでぜひ活用してみたい。
8月6日(月)	首都圏周辺地域給水計画視察	水省の方の説明を受けながら井戸の水を汲み上げ水栓まで水を送る設備を見学した。家の中まで水道をひいているところもあれば、何軒かで共同水栓として使っているところもある。
8月6日(月)	JICAタンザニア事務所 討論会	タンザニアの国内格差についてディスカッションを行った。ワールドカフェという初めて経験する手法だった。ラウンド1～5までテーマが少しずつ変化していくのも面白い。
8月6日(月)	教材購入	TingaTinga村の伝統的な絵画は子どもにも好かれそうな風合いで、ぜひ授業の中で紹介したい。
8月6日(火)	本日の振り返り	お世話になった方々へお礼のメッセージなどを準備した。翌日発つので荷物の重量を調節した。
8月7日(水)	JICAタンザニア事務所 研修報告会	勝田所長に海外研修全体を通しての所感とお礼を述べた。授業で扱う際の留意点について尋ねると、阿部さんから「貧しい」「きたない」など負のイメージを与えることのないようにとのことだった。
8月7日(水)	在タンザニア日本大使館表 敬訪問	岡田駐日大使から今の日本の支援の重点などをお話いただいた。経済インフラ（道路・水・電気）、米の増産、地方行政の3つだそうだ。
8月8日(木)	タンザニアから日本までの 移動中および日本到着	タンザニアを離れるが心惜しかった。長時間のフライト中、多くのことを学べた研修を振り返り頭の中で整理した。